

(様式第7)

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年3月31日

計画の名称	都城市安全・安心の公園づくり (防災・安全)						
計画の期間	平成30年度 ~ 平成31年度 (2年間)	交付団体	都城市				
計画の目標	大規模地震に備えた都市の防災機能の向上や、公園施設の老朽化に伴う機能保全・向上対策による安全性の確保が急務である。地域防災計画では広域避難地として位置付けられており、防災拠点としての機能を有する防災公園整備や公園施設の改築・更新等を行い、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を図る。						
計画の成果目標 (定量的指標)	・ 防災公園における避難地及び災害関連施設としての空間利用割合						
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 中間目標値 最終目標値 H30当初 H31末 10/18 18/18 55% % 100%		備考				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,640 百万円 A	1,640 百万円 B	0 百万円 C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価	
実施体制	実施時期
都城市において、事後評価を実施	令和2年3月
	公表の方法

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 地方道路整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接/間接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)		全体事業費(百万円)	備考
												H30	H31		
1-A-1	公園	一般	都城市	直接		都城市			都市公園事業(早水公園)	防災拠点施設整備等	都城市			1,640.0	
合計												1,640.0			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接/間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)		全体事業費(百万円)	備考	
											H30	H31			
合計												0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)		全体事業費 (百万円)	備考
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)		全体事業費 (百万円)	備考	
												H30	H31		
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

その他関連する事業

計画の名称															
番号	事業種別	交付団体	要素事業名	市町村名	全体事業費 (百万円)	備考									

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I. 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 広域避難地及び防災拠点としての機能向上を図り、安全で安心して利用できる都市空間の整備が図られた。														
II. 定量的指標の達成状況	最終目標値	100	%	目標値と実績値 に差が出た要因	・ 目標値を達成することができた。										
		最終実績値	100			%									
	最終目標値		%	目標値と実績値 に差が出た要因											
		最終実績値				%									
	最終目標値		%	目標値と実績値 に差が出た要因											
		最終実績値				%									
III. 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	・ 公園施設の機能保全、向上対策を計画的に実施したことで、市民に対して、安全で安心して都市公園を利用できる環境を提供できるようになった。														

3. 特記事項(今後の方針等)

・ 広域避難地及び防災拠点としての機能維持を図り、安全で安心して利用できる都市空間の提供に努める。															
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(様式第7)

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和2年3月31日

計画の名称	都城市安全・安心の公園づくり（防災・安全）									
計画の期間	平成24年度～平成29年度（6年間）	交付団体	都城市							
計画の目標	大規模地震に備えた都市の防災機能の向上や、公園施設の老朽化に伴う機能保全・向上対策による安全性の確保が急務であり、防災拠点としての機能を有する防災公園整備や公園施設の改築・更新等を行い、子どもや高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を図る。									
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 防災公園における避難地及び災害関連施設としての空間利用割合 市立都市公園における長寿命化計画策定公園数 防災活動拠点及び後方支援拠点における救援物資等の備蓄機能の整備 									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考				
				当初現況値	中間目標値		最終目標値			
				(H24当初)	(H26末)	(H29末)				
・防災公園としての災害時公園利用可能率を算定する。 (災害時の公園利用可能率) = (災害時に利用可能なエリア数) / (全28エリア) (%)				17/28 60.7%	17/28 60.7%	28/28 100%				
・長寿命化計画策定公園数				0件	38公園	38公園				
・防災活動拠点及び後方支援拠点における救援物資等の備蓄機能を有する施設数				0施設	0施設	3施設				
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,528 百万円	A	4,528 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

実施体制		実施時期	
都城市において、事後評価を実施		令和2年3月	
		公表の方法	

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 地方道路整備事業													全体事業費 (百万円)	備考						
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)								
												H24	H25	H26	H27	H28	H29			
1-A-1	公園	一般	都城市	直接		都城市			都市公園事業（早水公園）	防災拠点施設整備等	都城市							3,442.0		
1-A-2	公園	一般	都城市	直接		都城市			都城市公園施設長寿命化計画策定	公園施設長寿命化計画策定 38公園	都城市							16.0		
1-A-3	公園	一般	都城市	直接		都城市			都市公園事業（高城運動公園）	防災拠点施設整備等	都城市							1,070.0		
												合計						4,528.0		
B 関連社会資本整備事業													事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H24	H25	H26	H27	H28	H29				
												合計						0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考		

番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
												H24	H25	H26	H27	H28			H29
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
												H24	H25	H26	H27	H28	H29		
												合計					0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考			

その他関連する事業

計画の名称																
番号	事業種別	交付団体	要素事業名	市町村名	全体事業費 (百万円)	備考										

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I. 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難地及び防災拠点としての機能向上を図り、安全で安心して利用できる都市空間の整備が図られた。 ・長寿命化計画が策定されたことにより、ライフサイクルの最小化を図りながら、計画的に施設の維持管理や修繕・更新が可能となった。 														
II. 定量的指標の達成状況	最終目標値	100	%	目標値と実績値 に差が出た要因	・目標値を達成することができた。											
		最終実績値	100			%										
	最終目標値	100	%	目標値と実績値 に差が出た要因	・目標値を達成することができた。											
		最終実績値	100			%										
	最終目標値	100	%	目標値と実績値 に差が出た要因	・目標値を達成することができた。											
		最終実績値	100			%										
III. 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設の機能保全、向上対策を計画的に実施したことで、市民に対して、安全で安心して都市公園を利用できる環境を提供できるようになった。 															

3. 特記事項(今後の方針等)

<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難地及び防災拠点としての機能維持を図り、安全で安心して利用できる都市空間の提供に努める。 ・施設整備から経過年数を要している施設が今後より一層多くなっていくことから今回策定した公園施設長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの最小化を図りながら計画的な維持・修繕に努めていく。 																
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--